

アジル経営：自由研究

経営ロボットの研究

2013.6.24

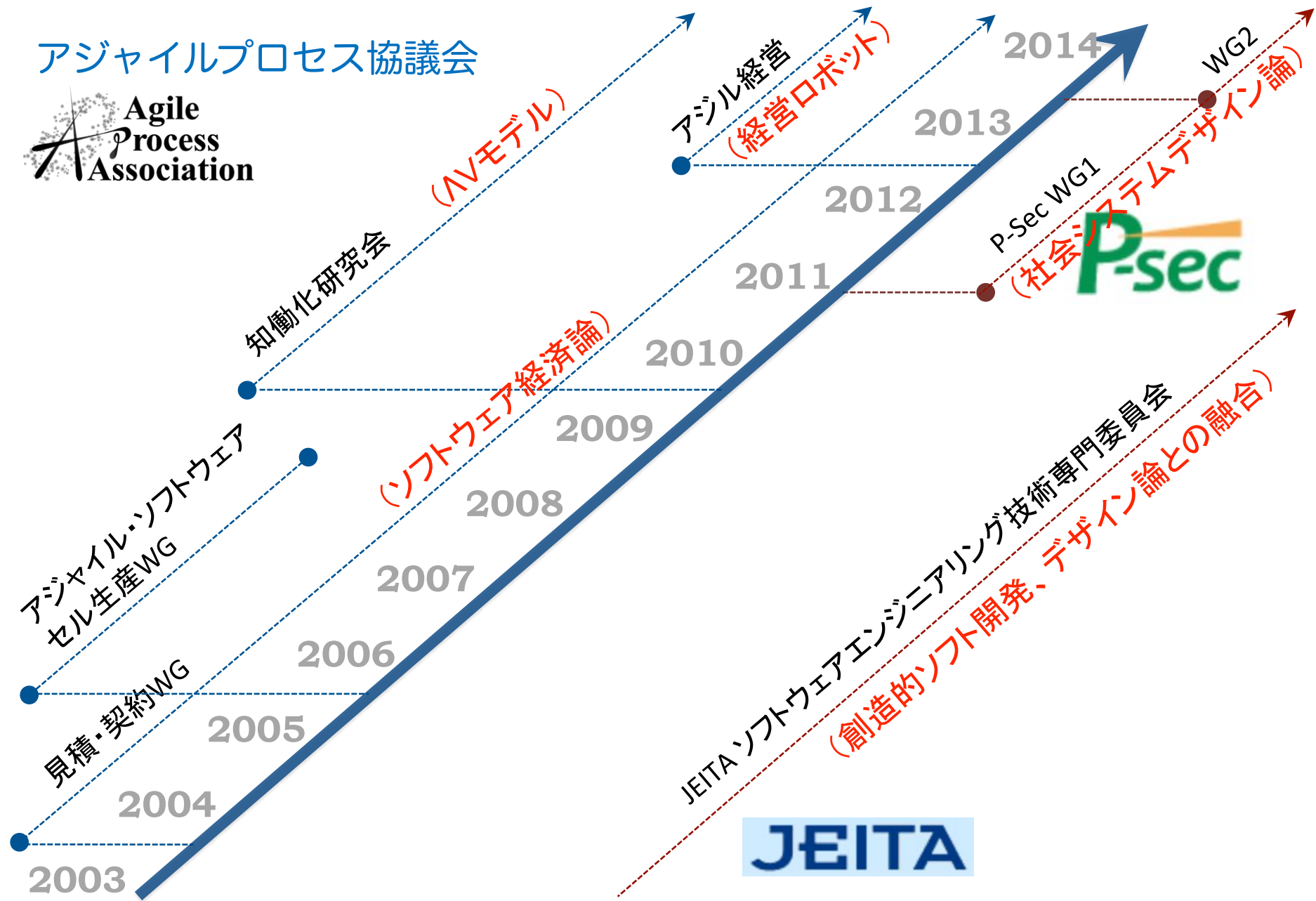
大槻 繁

株式会社 一（いち）



Ichi Corporation

アジャイルプロセス協議会



JEITA



Ichi Corporation

コミュニティ	中心	メンバ	自由研究	運営	知の編集
見積・契約WG	社会・経済的観点	6 ～7名	見積り手法、契約方法等 (ソフトウェア経済論)	月1回会合 半年1回地方巡業	特に無し
アジャイルソフトウェアセル生産WG	松本吉宏教授 ソフトウェア ファクトリ	10 ～15名	エコシステム、多能工等 (セル生産方式)	月1回会合 輪唱方式	オープンフォーラム 開催
知働化研究会	実行可能知識と 様相	10 ～15名	ソフトウェア哲学、 新ソフトウェア宣言等 (ΛVモデル)	2か月1回 会合	知働化研究会誌 知のフリマ
アジル経営	ビジネス連動	6 ～10名	各自設定予定 (経営ロボット)	月1回会合	これから検討
JEITAソフトウェアエンジニアリング技術 専門委員会	ソフトウェアエ ンジニアリング 全般	15名 程度	種々のトピックスの聴講 (創造的ソフト開発、 デザイン論との融合)	月1回会合	特に無し
P-Sec WG1&WG2	方法論と社会基 盤、温故知新	15名 程度	各自設定予定 (社会システムデザイン 論)	2か月1回 会合、コ ミュニティ 間連携	知のプラットフォーム、 オープンフォー ラム、活動報告書

()内は大槻のテーマ

The Trend of Future Tech.

実世界、業務世界と連動し、かつ、経営上の観点
(バリューチェーン)、経済・富の評価を伴う意思決定へ

経営化

個別蛸壺ではなく、全体(組織全体、ステイクホルダ全体)、初期構築と運用の統合化視点へ

全体化

生産性向上より商品力向上(価値指向)へ、デザイン思考や創造性中心

創造化

方法論

ツール

BAの導入 本当のビジネスモデル策定と評価	構築・運用の統合 プロジェクトごと より組織全体論	自動化されない世界の創造性思考 暗黙知の定式化
本当のMIS KPI設定・測定 経営の自動化	広義の構成管理 組織横断証跡機能	発想・認知支援 プロトタイピング

経営ロボット三原則

- 第一条 経営ロボットは企業に危害を加えてはならない。また、その危険を看過することによって、企業に危害を及ぼしてはならない。
- 第二条 経営ロボットは経営者にあたえられた命令に服従しなければならない。ただし、あたえられた命令が、第一条に反する場合は、この限りでない。
- 第三条 経営ロボットは、前掲第一条および第二条に反するおそれのないかぎり、自己をまもらなければならない。



仮説：経営ロボットは空(くう)かもしれない

【見積・契約WG】

- ITプロジェクトの勘と度胸からの脱却: 価格・コスト・価値を取り巻く新視点(ソフトウェア経済学), PMI東京月例テクニカルセミナー, 2006.11.10
- ソフトウェア経済学の概要: コスト分析・資産評価への科学的アプローチ, JEITA情報システム技術シンポジウム, 2006.11.21
- ソフトウェア経済学: マネジメントのためのコスト・価値・価格の考え方, プロジェクトマネジメント学会, 2007年春季研究発表大会キーノート講演, 2007.3.15
- ソフトウェア経済学のすすめ: 価値指向のソフトウェア開発アプローチ, 『ITによるビジネス価値の向上』シンポジウムパネル討論, 2007.11.2

【アジャイルソフトウェアセル生産WG】

- 大槻繁, 濱勝巳, アジャイル・ソフトウェア・セル生産(人月から価値駆動へ), PM Conference 2008, 2008.8.1

【JEITAソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会】

- 創造的ソフトウェア構築を目指して: デザイン論とイノベーション研究からのアプローチ, JEITA ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会資料, 2011.1.28
<http://1corp.co.jp/Article007.html>

【知働化研究会】

- **ΛVモデル: V字モデルからの意味論的転回**, 知働化研究会誌 Volume 1, pp105-131, 2010.11.3
- **実行可能知識としてのソフトウェア構築プロセス**, 日本デザイン学会 デザイン学研究, 2012.6.23
- **ソフトウェアデザインプロセスの呪縛からの解放: 人働説から知働説への転回**, Designシンポジウム 2012, 2012.10.17
- **実行可能知識のデザインプロセス: 創造的ソフトウェア開発プロセスΛVモデル**, 日本デザイン学会, デザイン学研究特集号 / デザイン思考 design thinking, Volume 20-1 No.77, 2012
- **新ソフトウェア宣言**, ソフトウェアシンポジウム2010, 2010.6.11
<http://www.exekt-lab.org/Home/newsoftdecl>
- **知のフリマのすすめ**, 知のフリマ(2012.11.3)Conclusion, 2012.12.21
<http://www.ichicorp.biz/exektfrema/conclusion.html>

【P-Sec WG1&WG2】

- **手法の知識体系: 手法の分類と系統樹**, 実践的ソフトウェア教育コンソーシアム WG1活動報告書, 2013.3.30
<http://www.ichicorp.biz/psecwg1and2/> (PsecWG1RepDraftA4_20130612.pdf)

座右の銘

書いたものしか残らない

